

# 記者発表資料

## 平成25年度 九州地方整備局関係

### 補正予算の概要

平成 26 年 2 月 6 日  
国土交通省 九州地方整備局

九州地方整備局 TEL092-471-6331(代表)

#### 【問い合わせ先】

総括	企画部	企画課長	樋口(内線 3151)
一括配分関係	総務部	会計課課長補佐	南(内線 2412)
河川関係	河川部	河川管理課長	井元(内線 3751)
道路関係	道路部	道路計画第一課長	本田(内線 4211)
港湾・空港関係	港湾空港部	港湾計画課長	馬場(内線 62320)
都市・住宅関係	建政部	都市・住宅整備課長	長江(内線 6161)
官庁営繕関係	営繕部	計画課長	十河(内線 5151)

# 1. 平成25年度 九州地方整備局関係 補正予算の概要

## 1) 予算規模

九州地方整備局の補正予算総額は、事業費(ゼロ国債含む)で約1,551億円

直轄事業	約398億円	(うち、一括配分	約119億円)
直轄事業(ゼロ国債)	約184億円	(うち、一括配分	約 47億円)
補助事業等	約963億円	(うち、一括配分	約 3億円)
補助事業等(ゼロ国債)	約 6億円		

### ①直轄事業

(単位:百万円)

事業区分	平成25年度 当初予算		平成25年度 補正予算		平成25年度 補正予算 (ゼロ国債)	
			歳出予算		歳出予算	
		うち一括配分		うち一括配分		うち一括配分
治水	70,635	18,775	15,851	6,346	5,675	2,255
海岸	1,974	0	275	0	455	0
道路	140,472	35,063	19,483	5,399	7,004	2,354
港湾	33,466	0	3,289	0	4,887	0
空港	2,259	0	704	0	0	0
都市水環境	2,240	606	0	0	80	80
公園	2,459	0	80	0	320	0
一般公共事業費計	253,505	54,444	39,682	11,745	18,421	4,689
営繕関係	721	721	154	154	0	0
合計	254,226	55,165	39,836	11,899	18,421	4,689

※本表は、端数整理の結果、合計と一致しないことがある。  
 ※本表には、営繕の支出委任は含まない。

②補助事業等

(単位:百万円)

事業区分	平成25年度 当初予算		平成25年度 補正予算		平成25年度 補正予算 (ゼロ国債)	
			歳出予算		歳出予算	
		うち一括配分		うち一括配分		うち一括配分
治 水	25,610	0	6,070	0	0	0
海 岸	0	0	0	0	0	0
道 路	27,724	0	8,620	0	500	0
港 湾	4,304	674	920	255	130	0
住宅対策	5,235	5,235	0	0	0	0
市街地整備	481	0	0	0	0	0
都市水環境	0	0	0	0	0	0
下 水 道	0	0	0	0	0	0
公 園	309	309	0	0	0	0
補助事業費計	63,663	6,218	15,610	255	630	0
社会資本整備 総合交付金	252,499	0	38,962	0	0	0
防災・安全交付金	260,090	0	41,681	0	0	0
合 計	576,252	6,218	96,253	255	630	0

※本表は、端数整理の結果、合計と一致しないことがある。  
 ※本表には、営繕の支出委任は含まない。

## 2) 基本的な考え方

「好循環実現のための経済対策」（平成25年12月5日閣議決定）に基づき、「競争力強化策」、「復興、防災・安全対策の加速」の分野に重点化した所要の経費等を計上しています。

### **I. 競争力強化策** <約52,282百万円>

#### **1. 交通・物流ネットワーク等の都市インフラ整備**

【事業費：約11,380百万円】

##### (1) 物流ネットワークの強化

迅速かつ円滑な物流の実現、国際競争力の強化、交通渋滞の緩和等を図るため、空港・港湾等へのアクセス道路等を切れ目のないネットワークとして重点的に整備します。

##### (2) 円滑な都市・地域活動のための渋滞対策

主要渋滞箇所等において、交通容量の拡大などの渋滞ボトルネック対策を実施します。

#### **2. 地域等の活力発揮のための地域づくり・まちづくり**

【事業費：約1,940百万円】

##### (1) 道の駅の多様な機能の強化等地域経済を支える基盤の整備

「道の駅」における地域経済、福祉、観光、防災、文化などの「地域拠点機能の強化」とそれらの「ネットワーク化」を推進するため、既存施設の充実・機能強化等を実施します。

また、地域経済の活性化のため、背後に立地する企業の生産活動等の強化に資する港湾インフラの整備を推進します。

### 3. 地域の成長力の底上げ等を図る社会資本の総合的整備

(社会資本整備総合交付金)

【事業費：約38,962百万円】

成長基盤の整備や都市構造の再構築等を通じた地域の成長力の底上げ等を図る観点から、交付金を計上し、物流ネットワークの強化、都市機能の集約、観光振興の取り組みの強化等の地方公共団体が実施する事業に対して、総合的な支援を実施します。

## II. 復興、防災・安全対策の加速 <約83,807百万円>

### 1. 防災・減災の取り組みや社会資本の老朽化対策等の加速

【事業費：約42,126百万円】

#### (1) 事前防災・減災対策

##### ① 河川、道路、港湾等の事前防災・減災対策

河川においては、平成24年7月の九州北部における豪雨災害にて甚大な被害が発生した河川において、集中的な河川整備を実施します。また河川堤防の緊急点検結果に基づく緊急対策や近年土砂災害が発生した地域における再度災害防止対策等を実施します。

道路においては、災害発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するため、防災対策（斜面・盛土等）や耐震対策（耐震補強）を推進します。

港湾においては、南海トラフ地震等の甚大な被害が想定される災害に際し、緊急物資輸送の拠点となる耐震強化岸壁等や、風水害対策としての防波堤等の整備を推進します。

空港においては、地震被災時に空港に求められる機能を果たすために最低限必要となる基本施設の耐震化を実施します。

#### (2) 代替性確保ネットワークの整備

今後想定される地震等への備えや国際競争力の強化、産業の立地・振興等を図るため、代替性確保のための道路ネットワークの整備等を推進します。

### (3) 社会資本の老朽化対策等

#### ① 河川管理施設、道路構造物、港湾施設等の老朽化対策等

河川においては、老朽化の進行や今次出水等により、機能が低下した河川管理施設（排水機場、護岸等）や砂防設備等の更新・補修等を実施します。

道路においては、点検に基づく道路構造物（トンネル、橋梁、道路附属物等）の修繕を実施します。

港湾においては、老朽化により機能の低下した港湾施設について、破損による機能不全等を回避するための老朽化対策を推進します。

空港においては、航空機の安全運航に必要な基本施設について、老朽化に伴う更新・改良を実施します。

国営公園においては、国営公園の利用者の安全を確保する観点から、施設の老朽化に伴う危険箇所の補修等、早急を実施する必要がある公園施設の老朽化対策を実施します。

### (4) 生活空間の安全確保

#### ① 通学路の交通安全対策

通学路の緊急合同点検の結果を踏まえ、児童の安全確保のため早期に実施する必要がある通学路の交通安全対策を推進します。

#### ② 無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保等の観点から、無電柱化を推進します。

### (5) 防災拠点となる国等の施設の防災・安全対策等

防災機能の維持及び来訪者等の安全の確保を図るため、国等の施設の耐震化・老朽化対策、改修等による防災機能強化等を実施します。

## **2. 地域の老朽化対策・事前防災対策等の集中支援**

**(防災・安全交付金)**

**【事業費：約41,681百万円】**

地域の防災・安全対策の加速化を図る観点から、交付金を計上し、総点検を踏まえたインフラ長寿命化計画の推進等の老朽化計画、大規模地震・津波や頻発する風水害・土砂災害に対する事前防災・減災対策、通学路の交通安全対策等の地方公共団体を実施する事業に対して、総合的な支援を実施します。

## **国庫債務負担行為（ゼロ国債）**

**【事業費：約19,051百万円】**

公共事業の発注平準化措置として、いわゆるゼロ国債（当該年度の支出はゼロであるが、年度内に契約発注可能）により効率的な執行を促進します。